

『^わ環』の公共事業構想ガイドライン評価シート

		作成年月日	平成21年8月19日		
		作成部署	建設交通部 河川課		
事業名	一級河川 大井手川 総合流域防災事業		地区名	木津川市鹿背山地先(木津川合流点) ～木津川鹿背川市地先	
概算事業費	15億円		事業期間	平成21年度～平成27年度 予定	
事業概要	近年、流域の上流で関西文化学術研究都市開発が進展しており、それに伴う治水対策として河川改修が必要である。30年に1回程度発生すると予想される降雨で生じる規模の洪水を安全に流下させることを目的として河川改修を行い、浸水被害の軽減を図る。				
目指すべき環境像	国家プロジェクトである関西文化学術研究都市開発や木津川市のまちづくりを支える基盤整備として、周辺環境と調和し、地域社会の発展に貢献する水辺空間の整備を図る。				
関連する公共事業	木津中央地区開発事業 都市計画道路東中央線街路整備事業				
評価項目				環境評価	
主要な評価の視点		選定要否	施工地の環境特性と目標	環境配慮・環境創造のための措置内容	
地球環境・自然環境	地球温暖化(CO ₂ 排出量等)	—	本河川は上流から下流まで三面張りのコンクリートで、人工水路の様相を呈している。一部にヨシやセイタカアワダチソウが生息するものの、大部分は耕作地雑草が低葎草地を形成し、河川水量や人為の影響を強く受けている。そのため、魚類の生息環境としても良好とはいえない、改修にあたっては、動植物の生息環境の保全に努める。	改修後も動植物の生息、生育の場としての良好な自然環境を保全できるよう、今後の改修においては、河床のみお筋の復元など、現状の自然環境を保全し、生態系に与える影響を抑えるよう配慮した整備を行う。	—
	地形・地質	○			3
	物質循環(土砂移動)	○			3
	野生生物・絶滅危惧種	○			4
	生態系	○			4
	その他	—			—
生活環境	ユニバーサルデザイン	—	浸水被害の軽減を図り、河川改修により地域の生活環境改善に努める必要がある。 掘削土を区画整理事業の造成盛土に流用することにより、残土運搬距離の低減と処分費の削減を図る。	低騒音・低振動型の施工機械の採用や建設発生土の有効利用による土砂運搬の縮減等により、工事中の騒音、振動、粉塵等の発生に十分留意する。また、河川改修により発生する掘削土を築堤に利用するなど、建築発生土の処分に伴う排気ガス等の排出を極力削減するとともに、その他の建設廃棄物についても縮減に努める。	—
	水環境・水循環	○			3
	大気環境	—			—
	土壌・地盤環境	—			—
	騒音・振動	○			3
	廃棄物・リサイクル	○			3
	化学物質・粉じん等	—			—
	電磁波・電波・日照	—			—
	その他	—			—
地域個性・文化環境	景観	○	大井手川の沿川には田畑が広がり、田園地帯の風景を残しているため、地域の景観の保全に十分配慮するとともに、環境学習の場や住民との協働の場としての利用に配慮した川づくりを進める。	ホテルの生育調査や魚類調査などの環境学習の場として利用できるよう、水際へのアプローチ等を整備し、川に親しめる空間を確保する。また、これらの空間の維持管理においては、地域住民との協働により良好な維持管理を行う。	4
	里山の保全	—			—
	地域の文化資産	—			—
	伝統的行祭事	—			—
	地域住民との協働	○			4
	その他	—			—